

茨木市民のみなさん！

茨木市の郡に西日本入国管理センターという外国人収容所があることをご存知でしょうか。現在、同センターには収容されるべきではない人々、難民及び日本人や在留資格のある外国人の配偶者が収容されています。



難民を強制送還・家族を引き裂こうとしている入管

西日本入国管理センターには、祖国での迫害を逃れ、日本に庇護を求めてきた難民や日本で愛する家族と生活していた日本人などの配偶者が収容され、強制送還されようとしています。難民が祖国へ強制送還されては、自身の、そして家族にも命の危険があります。また日本人の配偶者が、このまま強制送還されると、家族と引き裂かれ、一生、離れ離れになって生活しなければならなくなってしまうかもしれないのです。

私たちは入管（出入国管理局）が難民を外国人収容に収容し、殺されるかもしれない祖国に強制送還しようとする、また家族を引き裂こうとしていることに対して、多くの茨木市民のみなさんが関心を寄せ反対の声を上げて頂きたいと思っています。

劣悪な人権無視の処遇

彼らは、ひとり一畳ほどのスペースの部屋に10人ほどが鯨詰め状態で拘禁され、外の景色を見ることはできない密閉施設で生活しています。月曜日から金曜日の昼間は部屋から出られますが、金曜日の夕方から月曜日の朝までの約65時間、部屋から一步も出られず、この蒸し暑い真夏、夜の12時になるとクーラーを切られます。鯨詰め状態の雑居房に、毎週毎週65時間閉じ込められ、汗だくになってもその間シャワーも浴びられないのです。これはもう一種の拷問ではないでしょうか？

このような生活が長く続くと、当然体調を崩してしまいます。しかし、病気になった時、西日本入管の常勤の医者にはちゃんと話を聞いてもらえず、適切に診療されなかったり、薬が処方されても効かずに、訴えたとしても状況は変わらないとききます。

私たちは、難民や日本人の配偶者を西日本管理センターから一刻も早く解放すること、また西日本入管の処遇問題、医療・食事・部屋・運動場・週末居室拘禁などの問題に対して、もっと人間らしい扱いをするよう同センターに申し入れています。

茨木市民のみなさん！私たちと共に、抗議の声を上げてください。お願いします！

抗議先：西日本入国管理センター 〒567-0071 大阪府茨木市郡山 1-11-1 (TEL)0726(41)8152

呼びかけ団体：RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)、西日本入管を考える会、TRY(外国人労働者・難民と共に歩む会)

HP: <http://try-together.com/>